

大雨が降った時のマニュアル

What to do when heavy rain falls
호우시 행동 요령
下大雨时的安全手册

大雨が降ったときにとるべき行動の例を説明します。西浦町の一部の場所では 0.5m～3mまで水に浸かる可能性があります。その場合、どのような行動をとればよいのでしょうか。

What to do when heavy rain falls in Nishiura Town ? Some places in Nishiura Town might be submerged in 0.5 to 3 meters of water.

当大雨降临时,该采取哪些措施? 在西浦町的某些地区,洪水可能会淹没0.5米至3米高。在这种情况下,我们应该采取哪些措施?

저번에는 지진이 발생했을때 취해야할 행동에 대해 설명했습니다. 이번에는 폭우의 경우에 취해야 할 행동에 대해 설명하겠습니다. 니시우라초의 일부 장소는 0.5m~3m까지 물에 잠길 위험이 있습니다. 이러한 경우 어떤 행동을 취해야 할까요.



事前に準備しておく。

京都市防災ポータルサイトを見ると、英語・中国語・韓国語でハザードマップを見ることができます。

Prepare in advance.

The Kyoto City Disaster Prevention Portal site allows you to view hazard maps in English, Chinese, and Korean.

避難情報の発令に注意

警戒レベル1～2：どこに逃げるかや、逃げるための道はどこかを考えましょう。警戒レベル3：避難に時間がかかる人は避難を開始してください。警戒レベル4：避難を開始してください。

Pay attention to the evacuation information issued.

Alert Level 1 - 2: Please increase your preparedness for disasters and confirm your evacuation destination and evacuation route. Alert Level 3: Evacuation should be initiated for those who need time to evacuate. Alert Level 4: Begin evacuation.

安全に避難する

避難所に行かず、建物の高い所に避難するか、避難所に避難するかを水浸の高さに応じて決めてください。

Evacuate safely.

Decide whether to go to a higher level of the building or to evacuate to a shelter, depending on the height of the flooding.

提前准备

可以在京都市防灾网站上查看英语、中文、韩语版的危险区域地图。

注意避难信息的发布。

警戒等级1-2: 思考避难场所以及避难路线。警戒等级3: 避难准备时间较长的人开始避难。警戒等级4: 请立即开始避难。

安全避难。

根据洪水淹没的高度判断是否去避难所,还是待在建筑物的高处。

사전에 준비해야 할 것

교토시 방재 포탈사이트를 보면 영어, 중국어, 한국어로 긴급 대피 경로를 확인 할 수 있습니다.

피난정보 발령에 주의

경계 레벨 1~2 재해에 대비 준비를 해, 피난처와 피난경로를 확인하세요. 경계 레벨 3 대피하는데 시간이 걸리는 사람은 대피를 시작해주세요. 경계 레벨 4 대피를 시작해주세요.

안전하게 피난하기

높은 건물에 피난 할지, 피난소로 피난할지는 침수 높이에 따라 경하십시오.



こんにちは！
龍谷大学の服部ゼミ
と村田ゼミです！

西浦町をフィールドに調査、研究を行っている龍谷大学政策学部の村田和代ゼミと服部ゼミでは「西浦通信」を発行しています。現在第10号を重ね、この第11号からは、私たち新3回生に引き継がれ誌面をリニューアルしました。今まで以上に地元のみなさんに楽しんでもらえるよう、これからも取材を通じて、西浦町の良さや出来事、社会課題などを発信していきたいと思っておりますので末永いご愛読の方よろしくごお願い致します。



【おわび】第10号のうまいとこるぽでマーチブラウンの「たまごサンド」の紹介記事で誤って「たまごトースト」の写真を掲載してしまいました。お詫びして訂正します。

今回の「うまいとこるぽ」は、……

ゲベッケン さんです！

西浦町6丁目にお店を構えるゲベッケンさんは、龍谷大学の校内にもお昼に出店していることから学生さんにも愛されています。今回の取材のきっかけは2月4日の西浦町冬祭り、地元の方への聞き込みから「おすすめのお店」としてゲベッケンの名前が挙がりました。

期待をふくらませいざ入店すると、レンガでオシャレな外観にシックな雰囲気のカジュアルな店内。落ち着いたひと時を楽しめるイートインの空間が設けられていました。この日も多くのお客様が食事をしておられ、地元で根強く愛されているお店だと思いました。

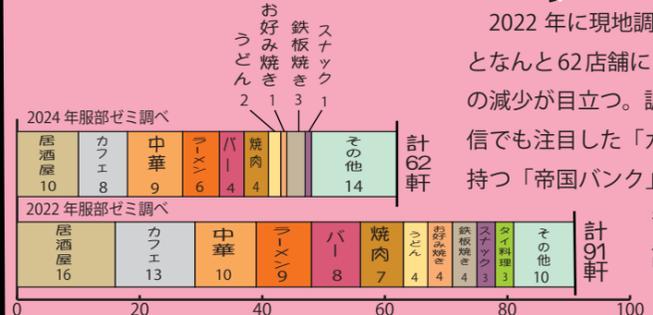
なぜ西浦にお店を構えたのかを聞くと「元々工場があったので、隣で焼きたてのパンを提供しようと思って」とお店で働かれている須藤さんが教えてください、「豊富なメニューとよそにない商品を提供している」というこだわりも聞かせてもらい

ました。おすすめメニューの「だし巻きパン」は2013年テレビ番組『秘密のケンミンSHOW』でも放映。だし巻きをご飯ではなく、ふわふわ生地にサンドした一品は間違いなくお店の看板メニューとなっています。だし巻きパンとリングドーナッツを購入し、店を後にしました。

我慢できず帰りの電車でだし巻きパンを食べると、だしをたっぷり含んだボリュームある卵焼きに天かすと青のりが食感のアクセントに！お店も、店員さんの雰囲気もすごく心地よく時間を忘れるようなひと時を楽しみました。■石田



☆ 西浦飲食店最新事情を調べてみました。 ☆



☆ 統計データをひもとけば西浦町の意外な一面がわかるかも？ データでみる西浦 ☆

2022年に現地調査した西浦町内の飲食店数は91店舗。2年後の現在、再調査するとなんと62店舗にまで減少している。特に「居酒屋」や「バー」など夜の店舗や「カフェ」の減少が目立つ。調査結果によるとすべての業種で数を減らしている。ただし西浦通信でも注目した「ガチ中華」は1店舗減にとどまっている。企業情報データベースを持つ「帝国バンク」によると、2023年の全国の居酒屋・飲食店の倒産もまた過去最多という。その要因の一つに食材価格や電気・ガス代などの物価高があげられている。■小早川

「西浦町の好きなところは、交通とか買い物の便が良いことですが、やっぱり1番良いところは、人と人との交流ですね」と話す津田さん。

2月4日開かれた西浦冬祭りでお話をうかがったところ、「今回みたいに西浦町が一体となったイベントをこれからもやっていきたい」と意気込んでおられました。

これからの西浦町についてたずねると「現在、少子高齢化により子どもたちが少なく、次に自治会長をする方や町内の子どもが少く減ってきているので、どうしても人手不足を感じたり、我々のパワーだけではなかなかできなくなってきました。だから、学生さんが積極的に参加してくれるのは本当にありがたいですね」と龍大生への期待を語ってくれました。

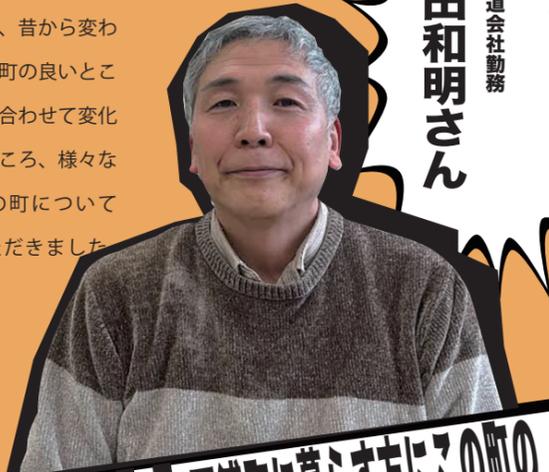
西浦町に30年以上暮らしている津田さん。「現在は住宅地のイメージがありますが、この地域は区分で言う住宅地ではなく実は商業地なんです。喫茶店やラーメン屋、中華料理屋など魅力的な店舗も多数あります。西浦町は留学生もいれば大学生もいて、中国人が多いため中華料理屋経営者など様々な方が住まわれています。

しかし学生生活を終えると、西浦町を去る人も多く、住民との交流機会が少ないまま、西浦に暮らす学生が入れ替わるため、交流を

深める難しさも津田さんは感じています。「30年間で変わってる部分があれば、変わってない部分もありますが、昔は良かったとか、今がよかったなどはあまりないと思います」と津田さん。

「西浦町を一言で表すと？」という質問に「住み良い町ですね」との答え。30年以上この西浦町に住まわれている津田さんだからこそ、昔から変わらない西浦町の良いところ、時代に合わせて変化していくところ、様々な面からこの町について語っていただきました。

■澤村



津田和明さん
鉄道会社勤務

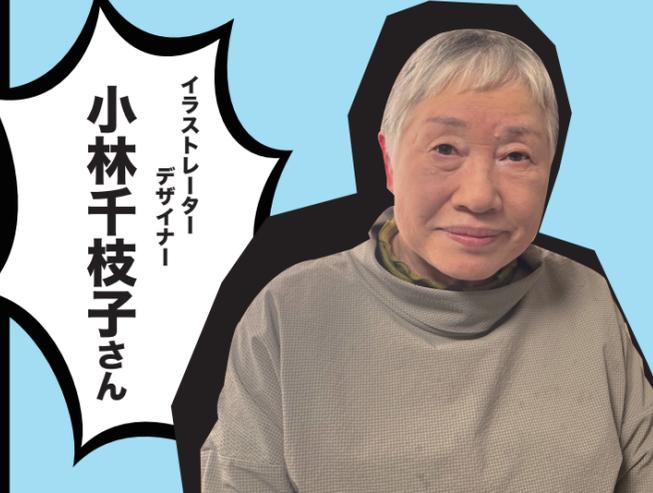
NISHIURANIKURASU 西浦町に暮らす方にこの町の思い出やこれからの話を聞きました。

「道が広くて、食べ物屋さんがいっぱいあり、公園もいっぱいあるので、とてもきれいで住みやすい町です」というのは、小林さん。「また、いろいろな人が住んでいるので面白いですね。龍谷大学が増設され、立派になってからはさらに町が活気づきました。学生も多く、若者が町を引っ張ってくれるようになるといいなと思います。」

コロナ前に開催されていた西浦夏まつりや冬まつり、のど自慢などのイベントを振り返りながら、「またコロナ以前の活気が戻ればいいなと思います」と期待を語ってくれました。

小林さんは父親の影響もあり、高校卒業後、印刷会社に就職して5年間働いたのち独立し、現在はフリーのイラストレーター・デザイナーとして仕事をされています。仕事の内容としては、京都に関するデザインなどをされています。知り合いから依頼を受けてデザインをしたり、八つ橋屋さんのパッケージや、東寺の出版、市役所の近くでのグループ展などに携わり、デザインしてきたものは多岐にわたります。中には龍谷大学にも関係している仕事をされたことがあり、現在は工事中ですが、20年ほど前にあった龍谷大学の仏教関係のミュージアムのパネルに、天女の絵を描かれたことがあるそうです。他にも龍谷大学の教授が出した本の表紙のデザインなどもされました。今後の仕事の展望としては、「今と同じように穏やかに働きながら、地域のためにちょっとでも役に立てれば、それでいいです」とおっしゃられました。

西浦町については一言で「きれいな町ですね」という小林さん。もともと戦後に、京都がきれいな町を作ろうと道を整備したり、公園を整備したりしてきれいな町づくりを行おうとしたのがきっかけであり、現在はバスを迂回させるようにすることで、渋滞を避けようとしたことでより快適な交通になったそうです。■本地



小林千枝子さん
イラストレーター
デザイナー